

第 2 学年 音楽科学習指導案

日 時 平成 20 年 1 1 月 2 0 日 (月) 5 校時
学 級 2 年 3 組 (男 1 6 、 女 1 9 計 3 5 名)
指 導 者 久 保 田 一 恵
場 所 音 楽 室

1 題材名 豊かな響きをもとめて

(教材) 「大地の歌」 谷川 健 作詞 熊谷賢一 作曲
「走れメロス」 平井多美子 作詞 野田暉行 作曲
「大きな古時計」 保富康午 作詞・ワーク 作曲・長谷部匡俊 編曲

2 題材について

(1) 系統性

2 年生になり、歌唱においては『声をみがこう』『響きを楽しもう』という題材のもと、「夢の世界を」「翼を下さい」「今日は君のバースディ」「夏の日の贈り物」等に取り組んできた。歌詞の内容に焦点をあてながら、まずは積極的に声を出すこと、みんなで意欲的に歌うことで一体感を感じることに取り組んだ。そして、『豊かな響きをもとめて』という題材のもと、文化祭合唱コンクールの課題曲である「大地の歌」と、自由曲として「走れメロス」に取り組み、速度や強弱による曲想の変化、盛り上がる場面の歌い方、聴いている人に届ける歌い方、言葉の伝え方などを工夫してきた。これまで学習してきたことを生かし、ア・カペラ「大きな古時計」に取り組む。

(2) 題材について

本題材は、学習指導要領の内容「A 表現 (1) ア、歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい歌唱表現を工夫すること。イ、曲種に応じた発声により、美しい言葉の表現を工夫して歌うこと。エ、声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱や合奏をすること。ク、速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫すること。」に関わる学習を中心に設定する。

(3) 生徒の実態

明るく穏やかな学級である。子供らしさがあり、自分の思ったことを周りを気にせず発言できる生徒が多い。間違った答えに対しても受容し、上手にフォローしあいながら生活している。

音楽の授業では、のびのびと歌う女子が男子をリードしながら協力し合って合唱を行っている。男子は体の小さい生徒も多く、声の響きにも幼さが残る。変声期を迎え、思い通りの音が出ずに悩んでいる生徒もおり、男声としてのまとまりや、伸びやかな歌声という状態からはずいぶん離れているが、楽しく歌おうと声をかけ合い、10月

末に行われた文化祭合唱コンクールでは、「目力のある合唱」を合い言葉に、言葉を生かした歌い方や速度や強弱による表現の工夫に積極的に取り組むことができた。しかし、自分のパートを歌うことが精一杯でハーモニーの美しさ、豊かさを感じとれてはいない。「楽しく歌う」を土台とし、これからは「豊かに歌う」を目指させたい。

(4) 指導にあたって

自分のパートの音と、他のパートの音の重なり、バランスや音色を意識させたい。ア・カペラでの「大きな古時計」をこれまでの合唱取り組みのまとめと捉えさせ、ハーモニーの美しさを十分に感じさせたい。

(5) 校内研究との関わり

本校の研究主題は「自ら意欲的に学習する生徒の育成～基礎・基本の定着とそれを活用する学習課程の工夫を通して～」である。

音楽科では、生徒の意欲を引き出すために、学習意欲の5つの視点の中の「④所属感・貢献感を感じる」「⑤進歩感・成就感が持てる」という部分を重視した。学習形態を工夫し、小グループ活動やパート別活動などの活動を意図的に取り入れることで相互の高まり合いや所属感を持たせられるように、学習の場を工夫することで、音を重ねると美しいという実感や協同する喜びを感じられるように意識して取り組んでいる。

3 題材の目標

(1) 指導目標

- ・混声合唱の響きの美しさに関心を持ち、合唱活動に意欲的に取り組む。
- ・歌詞の内容を理解し、発声や言葉の表現に気をつけ、合唱表現を工夫する。
- ・速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して表現を工夫する。
- ・声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する。

(2) 題材の評価規準

<音楽への関心・意欲・態度>

- ・歌詞の内容や曲想、合唱に適した発声、美しい言葉の表現、声部の役割、速度や強弱による曲想の変化に関心を持ち、曲にふさわしい歌唱や合唱の表現をすることに意欲的に取り組む。

<音楽的な感受や表現の工夫>

- ・歌詞の内容や曲想、合唱に適した発声、美しい言葉の表現、声部の役割、速度や強弱による曲想の変化を感じとり、イメージを生かした表現を工夫する。

<表現の技能>

- ・歌詞の内容や曲想、合唱に適した発声、美しい言葉の表現、声部の役割、速度や強弱の働きによる曲想の変化を理解して合唱表現をする技能を身につける。

4 題材の指導計画 指導目標と評価規準 (全12時間)

時間	学習活動	評価規準			教材曲	
		関心意欲態度	感受や表現の工夫	表現の技能	大	メ
1	○は主たる活動を知る ○曲との内容を親しむ ・曲の内に親しむ ・旋律	①歌詞の内容的に意欲する。 ②言葉意識的に意欲する。	①歌詞のイメージを感じる。 ②表現や曲のイメージを感じる。			
2	○パート練習 ・音程やリズムを つかむ	②言葉意識的に意欲する。				
3	○パート練習 ・言葉の表現 ・伝わる歌い方		②言葉意識的に意欲する。	②言葉意識的に意欲する。		
4	○曲との出会いは親しむ ・曲の内に親しむ ・旋律	①歌詞の内容的に意欲する。 ②言葉意識的に意欲する。	①歌詞のイメージを感じる。 ②表現や曲のイメージを感じる。	①歌詞のイメージを感じる。 ②表現や曲のイメージを感じる。		
5	○パート練習 ・言葉の表現 ・伝わる歌い方	②言葉意識的に意欲する。				
6	○合唱表現の強弱 ・曲の強弱 ・頂点の働き	④速度の変化、強弱の意欲する。	④速度の変化、強弱の意欲する。	④速度の変化、強弱の意欲する。		
7	○声部の役割 ・音色の工夫	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。		
8	○録音 ・まとめ	④速度の変化、強弱の意欲する。	④速度の変化、強弱の意欲する。	④速度の変化、強弱の意欲する。		
9	○曲との出会いは親しむ ・曲の内容を知る	①歌詞の内容的に意欲する。 ②言葉意識的に意欲する。	①歌詞のイメージを感じる。 ②表現や曲のイメージを感じる。			
10	○パート練習 ・言葉の表現	②言葉意識的に意欲する。		①歌詞のイメージを感じる。 ②表現や曲のイメージを感じる。		
11 本時	○声部の役割 ・三部の響き	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。		
12	○表現を工夫 ・まとめ	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。	③各パートの役割を感ずる。 ④速度の変化、強弱の意欲する。		

5 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・各声部の役割を感じ、表現を工夫する。
- ・混声合唱の美しい響きを感じる。

(2) 学習内容と具体的な判断基準・支援

学習内容	評価規準	具体の評価		規準の内容を実現していない生徒への対応・手立
		十分満足できる状況	おおむね満足できる状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・三部合唱の部分の違いを感じる。 (a a b c c) 	<ul style="list-style-type: none"> ・三部合唱の部分の違いを感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三部合唱の部分の違いがわかり、真ん中の部分 b が特徴的であることを音や楽譜から捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三部合唱の部分の違いがわかり、真ん中の部分 b が特徴的であることを感じることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三部合唱の部分の違いを歌いながら確認する。
<ul style="list-style-type: none"> ・真ん中の部分 b の歌い方を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の役割を感じ、歌い方を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の歌い方を考え、表現を工夫することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の歌い方を考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各声部の音がそれぞれに動いていることを捉えさせる。
<ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱の響きを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱の響きを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱の響きの美しさを感じ、豊かに表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・混声三部合唱の響きを感じて合唱することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に歌わせる。

(3) 本時の展開

	学習過程と ⑤つの視点	学習内容及び学習活動	○ 具体の評価規準 * 対応・手だて
導 入 10 分	<p>1 学習の雰囲気作り</p> <p>2 前時の復習 【①意欲】</p> <p>3 学習課題の確認 【②目的意識】</p>	<p>1 既習曲の合唱を歌う。</p> <p>2 大きな古時計の合唱をする。</p> <p>3 学習課題を確認する。</p>	<p>* のびのびと、歌わせる。</p> <p>* 言葉を大切に歌わせる。</p> <p>☆ 大きな古時計を録音する</p>
ハーモニーの美しい響きを追究しよう			
展 開 30 分	<p>4 課題の追求 【①意欲】</p> <p>【④所属感】</p>	<p>4</p> <p>(1) 三部に分かれている部分をとらえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三部に分かれているところが5カ所あること、その3つ目が特徴的であることを捉える。 (a a b c c) ・bと他との違いを考える。 <p>(2) bの良さを感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き比べる。 <p>(3) 表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・bの部分の歌い方を考える。 ・全員で3つのパートを歌う。 <p>(4) パートごとに練習する。</p> <p>(5) 合唱する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・録音し聞き比べる。 	<p>○ 三部合唱部分の違いを感じることができる。</p> <p>* 音をイメージしながら</p> <p>* キーワード「とけい」から。</p> <p>* 音を聞いて違いを感じる。</p> <p>* 楽譜から違いを考える</p> <p>* bの最後を付点二分音符でのばすVの和音にしたものと、楽譜通りのものとは比較し、良さを感じる。</p> <p>○ 歌い方を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各パートの動きが違う。 ・アルトだけが動く。 ・男声に臨時記号がある。 <p>☆ 録音する。 録音1と聞き比べ変化を確認する。</p>
終 末 10 分	<p>5 学習のまとめ 【⑤進歩感・成就感】</p>	<p>5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめの合唱をする。 ・工夫を生かし、三部の響きを感じながら合唱する。 	<p>○ ハーモニーの美しさを感じ取っている</p> <p>* ピンクホールに移動し残響を感じやすいようにする</p>